

MOX燃料輸送に使われている
パシフィック・ピンテール号とパシフィック・ヘロン号



写真：CORE,UK

パシフィック・ピンテール号 Pacific Pintail (1987年建造)

既に「暴走」する腐食が発覚している。
廃船またはスクラップ化された旧式モデル船舶と同じ設計と建造基準で造船されているにもかかわらず、いまだ操業中。



写真：Greenpeace

パシフィック・ヘロン号 Pacific Heron (2008年建造)

旧式モデルをほんのわずかに変更して建造されたもの。これらの変更について入手可能な詳細情報には、「暴走」する腐食の進展を防ぐ対策が記されていない。

日本のMOX燃料輸送に使われるイギリスの輸送船に重大な欠陥あり



イギリス・スコットランド・ウェールズ・アイルランドの非核宣言自治体70カ所の市町村で構成されているNFLAが、海洋汚染研究コンサルタントTim Deere-Jones氏に依頼し、2009年4月、イギリスのPNTL社の核物質輸送船に関する報告書を発行しました。

**PNTL船舶：
設計ミスが事故リスクを高める**

Pacific Pintail and Pacific Heron：

- ・ 二重構造の船体はガスまたは湿気の蓄積に対して脆弱
- ・ 船体は「暴走」する腐食が進展する体質
- ・ 船体の40%は二重構造でなく一重構造
- ・ 「船が沈没不可能」という主張は科学的、技術的信憑性に欠ける
- ・ 事故発生の場合の緊急対策が皆無である

*報告作成者：Tim Deere-Jones

(independent marine pollution consultant: 海洋汚染コンサルタント) (2009年4月)

Nuclear Free Local Authorities
Briefing No.66

http://www.nuclearpolicy.info/docs/briefings/NFLA_briefing_66.pdf

GREEN ACTION

日本の核輸送の問題点

核輸送国（日本・イギリス・フランス）が怠っていること：

- 核輸送の安全性を確認するための環境アセスメントを行っていない
（日本の沿岸近辺のものだけ。しかもおそまつ。）
- 事故に備えての補償制度をいまだ確立していない。責任の所在も不明。
（どの国が責任を取るのか明らかにされていない。）
- 非常事態の対策・計画が皆無（沈没した積荷を引き揚げる計画が存在しない。）
- 輸送ルート諸国から事前了解を得ない。
- 排他的経済水域(経済専管水域)に入らないことを保証しない。
- 護衛が不十分。

**七十カ国以上にもものぼる抗議または輸送船の近海通過拒否の主張に対し、
一度として誠実な対応を示していない。**